

2 利用者の好む屋上・壁面緑化方法

(1) 利用者の好む屋上緑化

アンケート結果から、利用者が最も好む屋上緑化のイメージは「四季折々の花が咲く季節感のある屋上緑化」でした。これは、利用者が屋上緑化にヒートアイランドの軽減以上に、リフレッシュ、リラックスの場として期待している結果だと思われます。また、屋上緑化をさらに普及するためには、コスト低減が必要なことが分かりました。

(2) 利用者の好む壁面緑化

アンケート結果から、利用者が最も好む壁面緑化のイメージは「夏は日差しをさえぎり、冬は日差しを取り込める壁面緑化」でした。壁面緑化には、屋上緑化より実質的な環境改善効果を求めているためだと思われます。壁面緑化をさらに普及するためには、屋上緑化と同様にコスト低減が最大の課題であることが分かりました。

～利用者に応じた屋上緑化が好まれるのか？～

1 調査方法

平成20年1月に、浦和市（200世帯）及び熊谷市（200世帯）計400世帯に屋上緑化に関するアンケートを実施しました。アンケートは住宅地図でランダムに抽出した世帯に配布し、回収は返信用封筒を同封をし行いました。

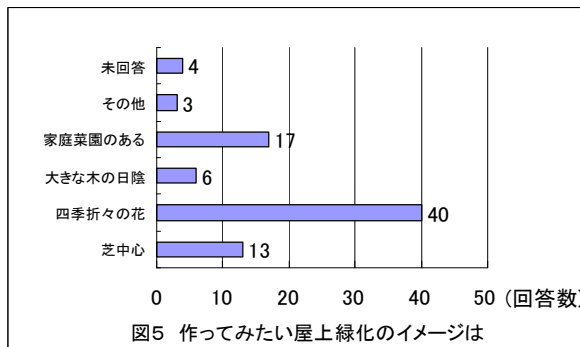
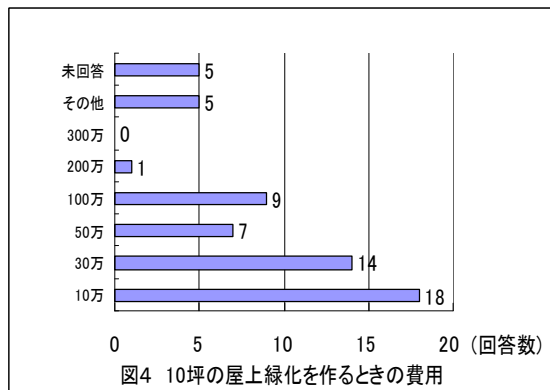
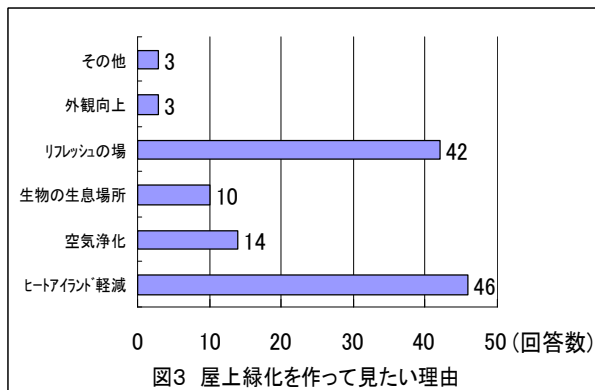
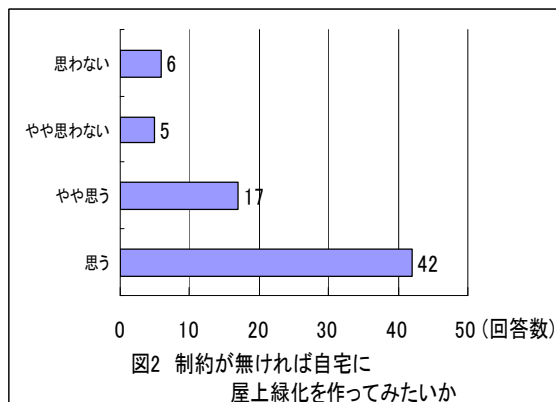
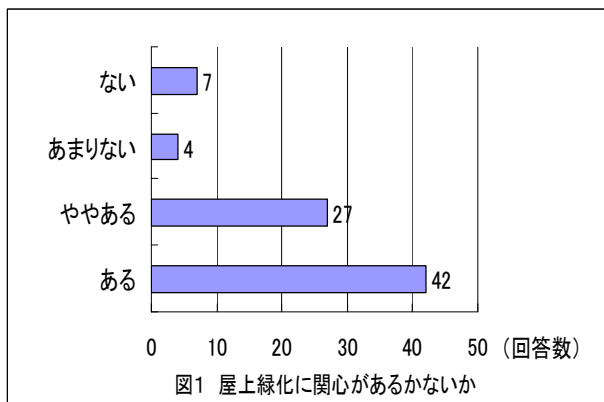
2 結果及び考察

アンケートの回収数は400世帯中の80世帯で、回収率は20%でした。

「屋上緑化に関心があるか」の質問では、69世帯（全体の86%）が「関心がある」「ややある」と答えました（図1）。屋上緑化への関心が高いことが伺えます。そのうち「制約が無ければ、自宅に屋上緑化を作りたいか」の質問には、「そう思う」「ややそう思う」と答えた方が、59世帯（84%）でした（図2）。その方々に、その理由を聞いたところ（複数回答可）、「ヒートアイランドが軽減できるから」が46世帯（66%）、「リフレッシュ、リラックスの場として利用できるから」が42世帯（60%）と多数をしめました（図3）。しかしながら、その世帯に、「10坪程度の屋上緑化を作るとしたら費用はいくらまで出してもいいか」という質問には、10万円までが最も多く18世帯（31%）、次いで30万までの14世帯（24%）で、30万以下で半数以上の32世帯を占めました（図4）。仮に10坪で30万円とすると、1坪あたりでは3万円、1㎡あたりでは1万円の屋上緑化になります。これは、現在芝などの屋上緑化システムでも1㎡あたり2万円程度はすることから、今後屋上緑化を普及させるためには、コスト低減が最大の課題のようです。「作ってみたい屋上緑化のイメージ」は、「四季折々の花が咲く季節感のある屋上緑化」が40世帯（全体の50%）を占め、次いで「野菜などが育てられる家庭菜園のある屋上緑化」が17世帯（全体の22%）でした（図5）。利用者は、屋上緑化の効果だけでなく、実益のある屋上緑化を求めているようです。

次ページへ続く

前ページからの続き



～利用者に応じた壁面緑化が好まれるのか？～

1 調査方法

平成20年10月の彩の国畜産フェア2008（農林総合研究センター）、11月の2008彩の国食と農林業ドリームフェスタ（行田市）、県民の日イベント（農林総合研究センター）で、農林総合研究センターが開発した壁掛け式植物トレイ植物を展示（写真1）し、壁面緑化に関する会場アンケート調査を実施しました。

2 結果及び考察

畜産フェアでは45名、ドリームフェスタでは50名、県民の日では81名、合計176名の方から回答を得ました。

「壁面緑化にどのような効果を期待しますか」の質問（複数回答可）には、「ヒートアイランドの軽減や大気の浄化効果」と答えた方が139名（79%）と最も多く、次いで、「心理的効果（リフレッシュ・リラックスの場の提供）」と答えた方が98名（56%）を占めました（図1）。「作ってみたい壁面緑化のイメージ・あったらいいなと思う壁面緑化のイメージ」という質問には、「夏は日差しをさえぎり、冬は日差しを取り込める壁面緑化」と答えた方が110名（63%）を占め、次いで「花などが楽しめる季節感のあふれる壁面緑化」と答えた方が57名（32%）でした（図2）。これらのことから壁面緑化は屋上緑化以上に、日差しのさえぎりなど実質的な環境改善効果に期待があるようです。「写真1の小型（直径30cm程度）の壁面緑化を購入するとしたら、いくらなら購入したいか」という質問には「500円」と答えた方が66名（38%）と最も多く、1000円以下と答えた方は147名（84%）を占めました（図3）。「場所及び費用に制約が無いとしたら、自宅に壁面緑化を作ってみたいか」の質問には、「思う」又は「やや思う」と回答の方は168名（95%）でした。壁面緑化についても、関心が高く導入したいと考えている方が、多いことが分かりました。今後、屋上緑化同様に普及の鍵はコスト低減のようです。



写真1 小型の壁面緑化（直径30cm程度）

次ページに続く

前ページからの続き

